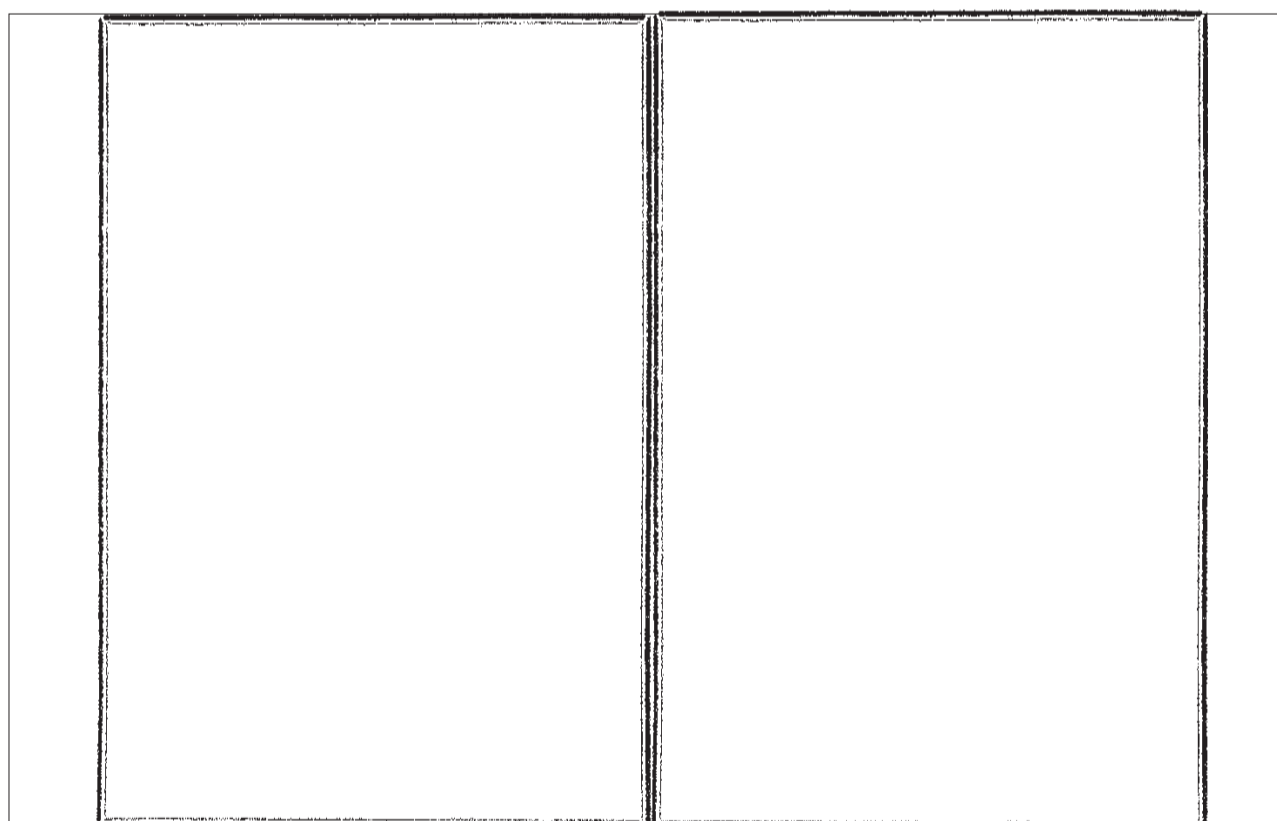
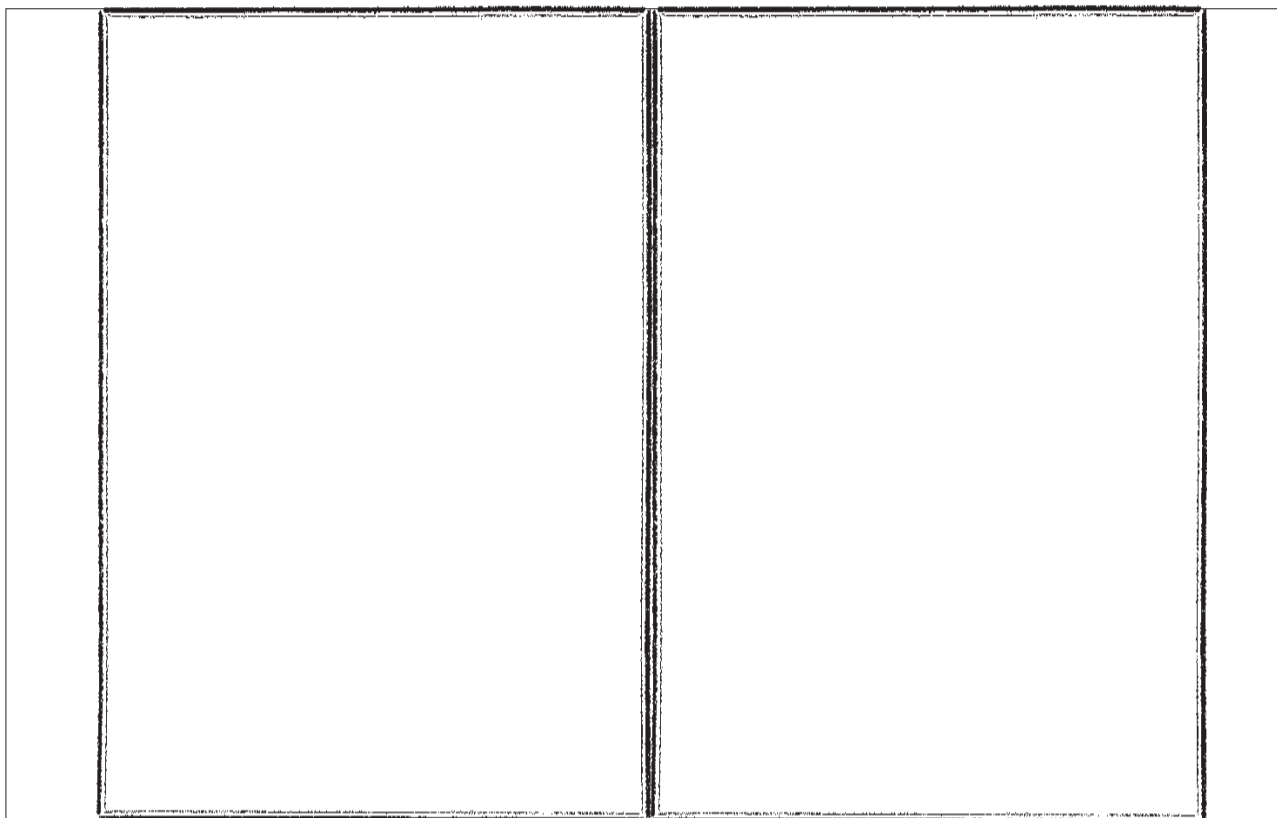


議事速記録第三十九號

昭和三年度第二十二次居留民會
臨時會議事速記録

天津居留民團



昭和三年第二十二次居留民会臨時會議事速記録

昭和三年十二月二日於公會堂

議事日程

- 一、民會議長選舉
- 一、民會副議長選舉
- 一、行政委員選舉
- 一、豫備行政委員選舉
- 一、民團會計検査委員選舉

出席議員

五十八名

武田守信	川島範夏	高潮	足立傳一郎
藤平正男	小谷万治郎	吉野久七	大崎犬生
岡本久雄	利根川久	植前香	古田治四郎
白井忠三	森川照太	郡茂行	野崎誠近
牧尙一	松田開一	潮底正敏	田中鑄太郎
上野壽	金山善八郎	赤山今朝治	砂田實
佐々木敏丸	藤田語郎	金井潤三	鷺田小平治
藤田重直	銀治靜一郎	長谷川義三郎	吉田久

(2)

(1)

筒井精逸 鹽谷信治 大澤大之助 小倉知正

孫潤宇 植松眞經 遠山猛雄 土岐正直

石川通 鹿田多三郎 大田万吉 森郁太郎

清水一太郎 山上逸 吉田房次郎 五十嵐重吉

千葉初藏 清水幸三郎 手島喜兵衛 小倉章宏

宮武徳次郎 松尾豊實 永安平吉 田村俊次

富成一二 眞藤葉生

午後七時三十分開會

○理事(中島徳次君)登壇

只今より總選舉の後を受けました第二十二次臨時民會を開會致します。恒例に依りまして、總領事の訓辭があります。御静聽願ひます。只今迄六十名の中五十七名の御出席です。

○加藤總領事 居留民會議員の選舉も滞りなく終了致しまして、茲に新たに中國の議員をも加へた居留民會の成立を見るに至つたのであります。民團の行政も時勢の變遷と共に進々其の形を變へて行かなければならぬのであります。何卒時代に適應し且つ居留民全体の意旨を最もよく實現する、やう御盡力あらんことを希望するのであります。今回の臨時民會は新たに出来上りました民會に於て民團の執行機關、其他各種機關の選舉を行ふことが目的であります。會期は二日でありますから何うぞ慎重公平に御討論あらんことを希望致します。假議長を最年長者たる千葉初藏君にお願ひ致します。(拍手起る)

千葉假議長着席(拍手起る)

(4)

(3)

○千葉假議長 今回は民會議員の年内長の故を以て只今總領事閣下より假議長の御指名に與りまして誠に光榮の至りに存じます。不肖を省みず、懼り乍ら議長の席を穢します。之より民會議長の選舉を致します。名刺に投票紙を配布致しますから何うぞ名刺に御名前を書き選舉立會人に御渡しを願ひます。(拍手起る)

○加藤總領事 選舉立會人として大崎犬生君、小倉知正君、御兩君にお願ひ致します。(拍手起る)

(此の間投票)

○千葉假議長 誰方も投票は済みましたが洩れた者はありませんか——之から開票致します。——總計五十八枚、名刺の數と合ひました。之から採點を致します。

(此の間採點)

○千葉假議長 一寸投票の結果を申し上げます。吉田さんが二十九票、遠山さんが二十八票で選舉人の過半数に達しませんで決選投票を致します。

(此の間投票)

○小倉章宏君 天津の居留民團に於ける選舉は無記名投票になつて居りますけれども、事務の方にもう少し御注意下さつて投票用紙を配布した後に投票に赴くやうにして下さると通行の人が悉く見ますから、成るべく投票用紙を全部配布してしまつてから投票に赴くやうに御注意あり度いと思ひます。さうしないと無記名の投票の趣意が何にもなりません。一寸御注意申し上げます。

○千葉假議長 小倉議員の御注意は確かに皆さんに。

○小倉章宏君 皆さんでなくて事務の方に。

○千葉假議長 承知しました。

○千葉假議長 名刺の數と投票數と合ひます故之より開票致します。

(此の間開票)

○千葉假議長 選舉の結果を御報告致します。

吉田房次郎君 三十票

遠山猛雄君 二十八票

吉田房次郎君が當選致されました。(拍手起る)

○千葉假議長 之より引續いて副議長の選舉を致します。投票紙と名刺を配布致します。吏員が廻りました後に投票を何うぞ致すやうに願ひます。——投票簿はありませんか——名刺の數が五十七枚投票紙が五十七枚ですから之から採點致します。

(此の間採點)

○千葉假議長 投票の結果を報告致します。

大田萬吉君	二十九票
川島範夏君	十票
砂田實君	四票
遠山猛雄君	四票
古田治四郎君	二票
森川照太郎君	二票
石川通君	二票
小倉章宏君	一票

大崎 大生君

無 効

一 票

大田萬吉さんが當選されました、(拍手)之で目出度く議長、副議長の選挙を終りました、私は之より議長と交替致します。(拍手起る)

吉田議長 着席

○議長(吉田房次郎君)

一寸御挨拶申し上げます、私は過去二年間議長としての席を授けられた事でございますが自ら甚だ不適任だと考へて居つたのであります、且本年は殆ど半年といふものは旅行致しまして臨時民會にも出席することが出来ませんでした、甚だ不都合も致したのでございますが、到底私は其の任でないといふことを考へて居つたのです、所が閣下も亦今晩再選の榮を得ましたといふことは、要するに私が老天津であるといふ故を以て此の光榮を授けられたものと存じます、謹んで感謝致します、私も個人と致しましては一種の主義主張もございまして、行政に就きましては新聞紙等では青とか赤とか云はれて居りますが、議長となつた以上は私は極く公平に總てのことを處理する考でありますから、其の點は御諒解願ひます、併し極く淺學非才なる私でございますから、失策も澤山あると思ひますが、之は諸君の御同情と御指導に依りまして任務中は大過無いことを期し度いと存じます、何分宜しく御願ひ致します、尙終りに臨みまして、今回の民會では中國議員たる孫潤宇君がお入りになりました、此の事は甚だ吾々歓迎する所でございます、中國の議員の方がお立ちになるといふことは初めてでございます、之は居留地にお出でになる方にして居留民の全体の意志といふことをよく御諒解下さることと思ひます、甚だ喜ばしい現象でありまして、

(5)

(6)

○副議長(大田万吉君) 登壇

私を突然副議長に御選下さいましたが、何等考へても居りませんので御辭退申し度いと存じます、誰か次點者がありますから其の方にお願ひ致します、何ぞ宜しくお願ひ致します、(ノー)「ノー」何うか(ノー、ノー)私は暇もありませんし無學文盲な人間で副議長の職責を全うすることは出来んと思ひます、何うか其の點を御諒察下さつて御辭退申し度いと思ひます、偏にお願ひ申し上げます。

○議長(吉田房次郎君)

大田さん、只今辭退されましたが、選挙されましたら辭退しないといふことになつて居りますから辭退しないことに。

○副議長(大田万吉君) (自席より)

では甚だ借越でございますけれどもお受け致します、斯ういふことには絶対無能でございますから諸君御承知願ひます。(拍手)

○議長(吉田房次郎君)

夫れでは今日の日程第三行政委員選挙に移ります、夫れでは投票用紙をお配り致します、新議員の方もありますから一寸申上げて置きますが、行政委員選挙は一人一票でございます、無記名でございますから此の點を何うかよく御諒解の上御投票願ひます。

○石川 通君 立會人は。

○加藤總領事 先程の立會人小倉君と大崎君にお願ひ致します。

○議長(吉田房次郎君)

投票用紙はありませんか、夫れでは一寸申上げます、名刺の数が五十八でございます、投票数も五十八で合致して居りますから之から開票致します。

(此の間開票)

○議長(吉田房次郎君)

夫れでは開票の結果を御報告申し上げます。

六 票	上 野 壽君
六 票	藤 田 直君
六 票	勝 田 重君
六 票	金 井 三君
五 票	大 澤 大之助君
五 票	石 川 通君
五 票	白 井 忠三君
五 票	利 根 川 久君
四 票	牧 村 一君
四 票	田 村 俊次君
四 票	松 尾 豐實君

(7)

(8)

(拍手起る)

では十分間休憩致します。

午後八時五十分再開

○議長(吉田房次郎君)

之から再開致します、日程第四です、豫備行政委員選挙です、是は諸君御承知の如く、豫備行政委員五名の選挙でございますが、矢張り一人一票でさうして無記名であります、只今投票用紙をお配り致します。

(此の間開票)

○議長(吉田房次郎君)

投票用紙はございませんか、若しありますれば仰つて下さい、一一名刺の数が五十七でございます、投票数五十七で合致致しますから之から開票致します。

(此の間開票)

○議長(吉田房次郎君)

開票の結果を御報告申し上げます。

十九 票	小 倉 章 安君
十八 票	岡 本 久 雄君
十四 票	古 田 治 四郎君
三 票	松 尾 豐 實君

午後八時四十分休憩

夫れから二票が郡茂行君で無効が一票でございます、施行細則に依りますと「三票以上の得点あるを要す」と書いてありますから、何うしても三票無いと有効になりませんからもう一名を選んで頂きます。

(此の間投票)

○議長(吉田房次郎君)

御報告申し上げます、投票数五十七、名刺の数も五十七、合致致しますから之から開票致します。

(此の間開票)

○議長(吉田房次郎君)

開票の結果を御報告申し上げます。

二十九票 郡 茂行君
 九票 山上 逸君
 三票 植松 經君
 三票 森川 太君
 二票 遠山 雄君
 一票 野崎 近君
 一票 砂田 實君
 一票 孫田 一君
 一票 永安 吉君

(10)

(9)

二十九票の郡茂行君が御當選になりました、豫備行政委員の順を申し上げます。

小倉 章 安君

松尾 豊 實君

松尾 茂 行君

岡本 久 雄君

古田 治 四郎君

以 上

一票 金山 喜 八郎君

一票 藤平 正 男君

一票 大崎 犬 生君

三票 無 効

五名の方が御當選になりました。(拍手起る)

夫れでは引續きまして日程の第五、民團會計検査委員選挙に移ります、民團會計検査委員は三名でございますが、連記で宜しうございませぬ、投票用紙をお配り致します。

(此の間投票)

○議長(吉田房次郎君)

投票用紙はございませんか、――御報告申し上げます、投票数が五十八であります、名刺の数も五十八で合致致しますから開票致します。

(此の間開票)

○議長(吉田房次郎君)

投票の結果を申し上げます。

五三票 田中 錫 太郎君

以上三人の方が會計検査委員になりました、次點を申し上げます。

三一票 藤 平 正 男君
 二七票 筒 井 精 逸君
 二六票 銀 治 靜 一 郎君
 四票 森 川 照 太君
 四票 山上 逸君
 三票 宮 武 德 次 郎君
 三票 永安 吉君
 二票 川 島 範 夏君
 二票 松 田 正 直君
 一票 土 鼓 守 信君
 一票 武 田 守 信君
 一票 手 島 喜 兵 衛君
 一票 清水 一 太 郎君
 一票 眞 藤 樂 生君

(11)

(12)

之で選挙を終りました、夫れでは御挨拶申し上げます、今日は民団議長、副議長、並に行政委員、豫備行政委員、民團會計検査委員の選挙を無事に只今終りました、夫れで私は甚だ僥越でございますけれども一言議員諸君並に其他の委員諸君に向つて御挨拶申し上げます、過去一年間といふものは、天津は色々な意味に於て非常に多忙な時でありました、夫れに拘らず各委員諸君は熱心に租界行政の上にお盡し下さしまして、今年に非常な仕事が出来て居ります、のみならず此の夏は北伐聯軍が所謂奉天軍と大衝突した爲に天津が非常な動亂の巷とならんとしたのであります、此の時に當りまして、行政委員諸君は軍隊並に領事館と策動されて、此の租界の平和といふことの爲に非常にお盡し下さつたのであります、夫れで何事もなく無事に済んだといふことは誠に有難い仕合せでございます、一年間の御勤勞に對して行政委員諸君に謹んで御禮申し上げます、又今日新たに御當選になりました新行政委員諸君、豫備行政委員諸君に謹んで御禮申し上げます、今後一年間に又非常な租界行政に就てお盡し願はねばなりません、非常な御多忙な身を以てさぞ御迷惑もあらうと思ひますが、自治行政の爲にお盡し下らんことを希望致します、尚終りに監督官憲に敬意を表します、今日の議事録署名者を大崎犬生君、小倉知正君の御兩名に御委託致します、宜しくお願ひ致します、では之で散會致します。

午後九時三十分散會

議長 吉田 房 次 郎
 副議長 大 田 萬 吉
 理事 中 島 德 次
 書記 鈴木 美 喜 太郎
 速記 村 岡 藻 里

